

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（3月）

留学先：東亜大学校

氏名：福島亜矢子

【はじめに】

来年2月までの1年間、韓国・釜山にある東亜大学校へ留学することになりました、大学院教育学研究科の福島亜矢子です。毎月、韓国での生活全般や授業について報告していきたいと考えています。そして、福井大学から韓国へ留学したいと考える学生が増えるきっかけになればと思います。

今月は初回ということで、東亜大学校での韓国語の授業と、今月行われた留学生の文化体験などについて紹介します。

【韓国語の授業】



東亜大学校の韓国語の授業は石堂グローバルハウスという建物で行われています。この建物は昨年建てられました。教室と寮が一体になっているのが大きな特徴です。（しかし、今回、交換留学生として日本から来た学生は別の寮で生活しています。）石堂グローバルハウスは釜山の繁華街である南浦洞から近いため、立地はとても良いです。

授業のレベルは初級1・2 中級1・2の4つに分けられます。1つのレベルはだいたい3クラスほどで構成されています。レベルによっては1クラスにつき20人以上いるようですが、私のクラスは15人ほどです。全体的に中国人の割合が高く、私のクラスも日本人2名、アメリカ、インドネシア、ウズベキスタン、ロシア人各1名以外は全員中国人です。授業は1コマ50分×4で、2コマごとに先生が変わります。どの先生もとても面白く、分かりやすいです！授業はもちろん韓国語ですが、どうしても分かりにくい場合などは英語を用いて説明して下さります。

授業は4学期制になっており、学期内で中間・期末考査があります。期末考査で70点を取らなければ次のレベルへ進級できません。今学期の中間考査も今月末に予定されているので、毎日復習は欠かせません。

【文化体験とクラスの食事会】



3月11日（金）に留学生が参加する文化体験がありました。今回は釜山ツアーが企画されました。釜山のマチュピチュと言われる甘川文化村（画像右）や釜山の観光名所として名高い海雲台（画像左）に行きました。レクリエーションもあり、日本人だけでなく、中国やシンガポール、ベトナム、韓国の学生たちと一緒に活動出来てとても良かったです。



また、今月は私の誕生日があったため、誕生日の夜はクラスの仲間と先生と一緒に食事に行きました。韓国ではチキンをよく食べるのと、クラスメートで宗教的に豚肉が食べられない学生がいるため、チキンを食べに行きました。チキンと一緒にビール（韓国語でメクチュ）を飲むことから、チメツという言葉があります。チキンを食べた後はカラオケ（韓国語でノレバン）に行きました。仲間と先生のおかげでとても楽しい時間を過ごしました。

来月は、外国人登録証などの手続きや、釜山の交通について報告できればと考えています。それではまた来月の報告書で。